

会 議 録

会議の名称	令和4年度第7回飯塚市地域福祉推進協議会
開催日時	令和5年2月28日(火)14:00～15:30
開催場所	飯塚市役所 2階多目的ホール
出席委員	17名(小賀会長、坂本副会長、浅田委員、阿波委員、大久保委員、大塚委員、岡松委員、吉良委員、櫻木委員、白瀧委員、高岡委員、友松委員、長谷部委員、宮田委員、安永委員、山田委員、渡邊委員)
欠席委員	1名(松原委員)
市職員	森山課長、松本課長補佐、平田係長、山田
委託業者	株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所(森山)
会議内容	<p>1 開会 ・会長あいさつ</p> <p>2 議題 (1) 第3期飯塚市地域福祉計画(案)について ＜事務局による説明＞</p> <p>(2) 第3期飯塚市地域福祉計画策定に伴う意見募集結果について ＜事務局による説明＞</p> <p>[委員] 市民意見募集については、市は精一杯対応していると感じる。ただ、一言申し上げると、中心部とそうでない地域との違いを考える必要があると思う。地域間で考え方や生活のあり方が異なる。潁田に住んでいるが、都心部のように家がまとまっているわけではないため、いろいろと周知も難しい。また、農家が多く農作業で精一杯なので、開催されている教室には行けない。ただし、農作業で健康が維持されているという側面があることも知ってもらいたい。また、将来的には地域間にあるこのような違いを考えていく必要があると思う。</p>

[会長]

来年度から地域の福祉課題等の振り返りを行っていく。その中でこの意見が活かされるようにお願いしたい。

[委員]

市民意見募集にあった内容と同じ意見を持っている。二瀬地区に住んでいるが、フレイルに関するイベントがあったとして、バス停等に行くまでの交通手段がない。イベントに行きたいし、体育館等の施設を利用したい。しかし、なかなかそこに行き着かないということを考慮していただきたい。

[会長]

目的地に行くための手段を考えることが重要だ。年に何回か行われるイベントについては、そこまで行くための公共交通を考える必要がある。一方、日々の生活において健康が維持できるような活動が模索される必要がある。そうしたことは、地域福祉計画だけで全部を解決できるわけではない。しかし、計画を実行していき、会議で点検していく中でよいアイデアがあれば実現させていく。それが困難ということであれば、5年後の改訂の際に組み込んでいく必要があると考える。

(3) 第3期飯塚市地域福祉計画(案)の答申について

<事務局による説明>

[会長]

言葉の問題だが、「議題(3)資料審議」の「2 飯塚市地域福祉推進協議会からの答申」の「1 審議の結果」の一行目「適当」を「必要」としていただきたい。

(4) その他

<事務局による説明>

[委員]

中身のことでないが、市民意見募集の結果をみて、こんなに少ないのかと感じた。また、市民意見募集が始まってから、公民館に見に行くと素案が出ておらず、声をかけたら「忘れていた」という感じであった。

家族でもこの計画について話してみたが、それぞれの立場からどのように書くべきか、ということを考えるようになった。今後、さまざまな施策をつかっていく中では、中身をしっかりと確認していくことが必要であると感じる。

[会長]

市民意見募集については、形骸化しないようにする必要がある。市民から意見を聞くための期間や広報のあり方等について、より良いあり方を追求していく必要がある。それについては、事務局がしっかり行って欲しい。

今回の市民意見募集の結果については、提出件数は少ないが、しっかり書き込まれていると感じており、驚いている。しっかりとした意見をいただける人がある。他市町村ではもっと少なく、形骸化している。SNS に載せるなど、若い人への意見募集も必要だと思う。

[委員]

外国の方がどれくらいいるのか。これから増えてくると思う。中国の方やブラジルの方などに、自治会に加入してもらえるように様々なことを行っているが、興味ないと返答されてなかなかうまくいかない。外国の方に、日本の自治会がどういったものか知ってもらえたらよいと思う。自治会に加入してもらえると、ごみの出し方や工事のルール等を教えることもできると思っている。

いろんなことが絡む問題でもあるので、各部署との連携がないと対応が厳しいではないか。横のつながりをつくって、対応してもらいたい。そうしたことができれば、うまくいくのではないか。

[会長]

地域福祉計画の難しいところは、線引きのところだ。昭和の時代の福祉は、貧困であったし、計画をつくるにしても簡単であった。しかし、現在はそうではない。線引きがどこまであるかを計画でとらえていき、こうした会議で決めていくことが必要になってくる。今後、外国人をどのように助けていくかということも考えていく必要がある。毎年度、会議の中で決めた範囲が現実にあっているかどうかを確認していく。そのように都度、現実に合わせて手直しをしていくことが必要だ。

[委員]

イラストを変更していただいて感謝する。地域福祉のあり方も、年々変わっていくものだと考えるようになった。この地域福祉計画も時々の状況に合わせて変わっていくものだと考える。次回はどのようになっているかわからないが、自分たちでも自助、共助を考えていきたい。

[委員]

計画書については所定の場所にしか設置しないということだが、地域の代表に配る必要があるのではないか。地域で行われている総会等に計画書を配布すれば、住民の意識改革や地域の連携につながるのではないか。計画を知ってもらうことで、住民の理解を得られて、安心してもらえるのではないか。地域の住民にそのような機会を与えて欲しい。

[事務局]

計画書を全自治会に配布することは難しい。

	<p>[委員] 概要版は作成するのか。交流センターに聞いたところ、現行計画の概要版は残っているということだった。概要版があれば、住民に広めることができる。今回策定する計画についても、概要版をつくってもらいたい。</p> <p>[事務局] 概要版は作成することになっている。部数についても2,000部用意する。計画書は、主要な施設に置く。最低でも交流センターに配布できるよう検討する。</p> <p>[委員] 総会、隣組の話し合いの時に、このような計画書があるのを見たことがないので、あったらよいと思う。</p> <p>[会長] 例えば、概要版の表紙に、計画全文を掲載したPDFのページに行けるようにしておく、計画書を設置している公共施設を示しておくなどの工夫があったらよいのではないかと思う。 他に意見がなければ、この案で答申したい。</p> <p><異議なし></p> <p>3 閉会</p>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・飯塚市地域福祉推進協議会(第7回)次第 ・第3期飯塚市地域福祉計画策定に伴う意見募集について ・2/28(火)第7回協議会議題(1)資料 ・2/28(火)第7回協議会議題(2)資料 ・2/28(火)第7回協議会議題(3)資料
公開・非公開の別	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1 公開 2 一部公開 3 非公開 (傍聴者 1名)</p>
その他	